

NTT に対抗できる勢力を目指す IJJとパワーコムが事業運営の統合を検討

インターネットイニシアティブ(IIJ)グループとパワーコムは、経営統合も視野に入れた事業運営の一体化の検討を開始したと7月18日に発表した。2002年12月末までに、具体的な統合内容を決定する予定となっている。

事業統合の対象になるのは、IJJとIJJのグループ企業「クロスウェイコミュニケーションズ」、「パワーコム」の3社。一部報道にあった「東京通信ネットワーク」(TTNet)との合併に関しては2003年の4月を目処に協議を進めており、「IJJとの一体化は、TTNetとの合併を前提に話を進めている」とパワーコム社長の種石健氏は語った。統合後の企業形態は未定だ。

IJJの持つ大きなトラフィックを運用する技術力と、パワーコムが持つ光ファイバ

ー網を保守・運用するノウハウを組み合わせることで、「スケールを伴った展開を行う」IJJ社長鈴木孝一氏と、事業統合によるメリットを強調した。

IJJと電力系のパワーコムとでは、企業風土が大きく異なる点が懸念されるが、「文化の違う会社がまとまるのは大変だが、お客様によりサービスを提供したいという目的は同じ」と、鈴木氏が前向きな発言をする。種石氏は「IJJのような若い人が羽ばたいている文化は学びたい」と持ち上げた。

両社は広域イーサネットによるデータ通信事業で直接の競合となるが、「IJJは一番激しい競争相手」(種石氏)と前置きしたうえで、市場の伸び率が非常に高いため、重複した分野も市場の伸びによって吸収できると説明した。



固く握手を交わす鈴木孝一氏(左)と種石健氏(右)

 www.ijj.ad.jp
(インターネットイニシアティブ)
 www.powercom.net
(パワーコム)

ワイヤレス業界のリーディングカンパニー大集合 ワイヤレス・ジャパン2002レポート



車載ITSサーバーを搭載した車

モバイルやワイヤレス関連製品とサービスの展示会「ワイヤレス・ジャパン2002」が、7月17日から3日間、東京ビッグサイトで開催された。前年の161社を20社ほど上回る約180社が、無線LANやBluetooth、インターネットITS、第3世代携帯電話などの展示を行った。

NTTドコモ、KDDI、Jフォンの携帯電話キャリアや、パナソニック、NEC、三菱電機などの携帯電話メーカーが巨大なブースを出展し、現行の最新機種を中心に展示を行った。最新機種を実際に体験できるとあって、多くの人々が訪れて動画やカメラ撮影を楽しんだ。

トヨタとデンソー、NECはインターネットITS(高度道路交通システム)に対応した実車を展示。ダッシュボードに配置されたナ

ビゲーション用の液晶モニターに、道路情報やレジャー情報、ニュースなどのほか、車のメンテナンス情報が表示された。

会場奥では、NTTコミュニケーションズが展開する「HOTSPOT」の仮設エリアとカフェが出現。会場内で利用できる無料IDを発行したほか、無線LAN内蔵のノートPCを貸し出した。

会場の入り口近くでは、ソニー・テクトロニクスが2.4ギガヘルツ帯の電波状況を画像で解析する「スペクトルアナライザー」を実演してみた。IEEE 802.11bとBluetooth、電子レンジがどのような電波を放出するかを視覚化でき、ホッピングしながら通信するBluetooth、決まった周波数帯を使う802.11bの違いが画面上で表示されると、展示の前には人だかりができた。

 www.ric.co.jp/expo/wj2002/
(ワイヤレス・ジャパン2002)



ウェブサービスを記述するオープンな言語

W3CがWSDL 1.2のドラフトを公開

W3Cは7月9日にWeb Services Description Language (WSDL) 1.2とWSDL 1.2 Bindingsのワーキングドラフトを公開した。WSDLはウェブサービスを定義するための言語。XMLをベースにした“ウェブサービス”で、ウェブ上にあるサービスの場所やサービス同士がやりとりするためのプロトコル、データの仕様などを記述する。以前のバージョンであるWSDL 1.1は勧告ではなく技術資料として公開されていたが、このWSDL 1.2ワーキングドラフトはW3CのWeb Services Descriptionワーキンググループなどで議論された内容が盛り込まれている。具体的にはWSDL 1.1から相互運用性のない機能を削除したこと、SOAPの最新版であるSOAP 1.2の組み合わせを可能にすること

などが盛り込まれている。今後は勧告に向けて詳細な仕様を策定していくという。

「WSDLは確かにマイクロソフトとIBMが提案した言語でしたが、ワーキンググループで議論を重ねて各メンバーの意見を取り入れることで、いままでのW3Cが発表している仕様と同じオープンなものになっています」とW3Cのヒューゴ・ハース氏が言うように、このワーキングドラフトによって各企業が独自に提案しているウェブサービス開発の互換性がとれると予想される。

なお、W3Cのウェブサービスの取り組みとして、Web Services Activityを組織し、Web Services Architectureワーキンググループと、XMLプロトコルワーキンググループ、Web Services Descriptionワーキンググループを置いている。



W3Cの広報を務めるシャネット・デーリー氏(左)とウェブサービスアクティビティリードのヒューゴ・ハース氏

www.w3.org/2002/ws/
(W3C Web Services Activity)



商用サイトに特化した検索サービスが登場

ファンコミュニケーションズの「Zubaken.net」

ファンコミュニケーションズは7月2日、商用サイト専門の検索サイト「Zubaken.net」のサービスを開始した。

ユーザーが入力した検索キーワードに対して、同社が独自収集した約1万6000サイトの中から、キーワードと合致する商品やサービスを有する商用サイトのリストを表示する。検索対象はオンラインショッピングなどのECサイトをはじめ、転職や留学などの支援サービスも取り扱う。eコマースと無関係な個人サイトやコミュニティサイトなどを省くことで、ECや商用サービスを利用するユーザーの検索効率を高めることができるという。

Zubaken.netの検索結果は、同社が「4Pロジック」と呼ぶ独自の指標で重み付けした順番で表示される。この指標は、同社

が広告主に対して販売しているキーワード広告の料金や、キャンペーンなどのインセンティブプランの有無や規模、Zubaken.netのスタッフによる評価などをポイント化したもの。同社の柳沢安慶社長は本誌の取材に対して、「7月15日時点ですでに50社からの広告を受注しており、7月中にこの数を100社に伸ばし、年内には1000社を目指す」と語る。

また同社は、Zubaken.netの検索ツールや検索データを他のウェブサイトにも無料で供給する「Zubaken アライアンスプログラム」の提供も開始する。このプログラムによって他のサイトからZubaken.netを訪れたユーザーが生むクリック広告などの利益は、同社とアライアンス先企業とで分け合う仕組みだ。



www.zubaken.net
(Zubaken.net)



日常を画像でメモする生活スタイルの提案 小型軽量のサイバーショットU登場



カスタマー登録をすれば、撮った画像を携帯電話に送れる「i-Jumpエンジン」を入手できる。

www.sony.co.jp/cyber-shot/
(ソニー)

ソニーマーケティングはサイバーショットの新シリーズ「サイバーショットU」『DSC-U10』を7月20日に発売した。製品コンセプトに「ビジュアル・ブックマーク」を掲げ、カメラよりもペンやメモ帳などの文房具に近い感覚で、気に入ったアイテムや人物、風景などを画像でメモする新しいライフスタイルを提案する。

本体サイズ84.5 × 39.8 × 28.6mm(幅 × 高さ × 奥行き)、重さ118g(電池、メモリスティック含む)と、手のひらに収まる小型軽量を実現。スライドカバーを開くと約1秒で撮影可能になる「電源スイッチ機能付きレンズカバー」を装備し、急なシャッターチャンスを見逃さない工夫がなされている。単4形ニッケル水素充電電池2本で最大1800枚、約70分の連続撮影ができる(VGAサイズ、

LCDライトとフラッシュがオフの場合)、有効画素数は130万画素で、フルレンジオートフォーカスレンズ搭載により、10cmのマクロ撮影も行える。そのほか、VGAサイズを0.5秒間隔で最大コマ連射できる「5枚連写」機能や、160 × 112ドットで約15秒の連続記録が可能な「MPEGムービー」にも対応する。

価格はオープンだが、店頭では24,800円前後で販売される予定。本体のカラーバリエーションは「シルキープラチナシルバー」「メタルソニックブルー」「メロウパールピンク」の3色が用意されているほか、別売りアクセサリとして、シルバー、ブラック、赤、オレンジのソフトキャリングケースが同時発売される(価格はいずれも2,000円)。



多機能PDA型FOMAが新登場 世界初ウィンドウズメディアテクノロジー対応の3G端末

NTTドコモは、キーボードや3.5インチ反射型TFT液晶(タッチパネル)を搭載した「FOMA SH2101V」を7月16日に発売した。

FOMAとPDCを同じ番号で使い分けできるデュアルネットワークサービスに対応し、受信最大384kbpsの高速パケット通信で、iモードやiモードメール、iムーブ、iアプリなどが快適に利用できる。さらに、電話帳やスケジュール管理といったPIM機能も充実した。

また、Bluetoothで本体と接続するワイヤレスハンドセットを付属している。これにより、本体を閉じたままの状態でも通話が可能となるうえ、メールの受信通知の確認や音楽ソフト用のリモコンとしても稼働する。ハンドセットはクリップ付きで、シャ

ツのポケットに留められるお手軽さだ。

FOMAのビジュアルタイプと位置付けられるFOMA SH2101Vは、モバイルカメラを標準装備する。このカメラは総画素数35万画素で、約245度の回転機構は、自分撮りのテレビ電話の用途だけでなく、好きな角度で静止画および動画(初期状態で最大約40分)が撮影できる。静止画は4倍、動画は5倍までのズームも可能だ。

音楽プレイヤー機能では、音声圧縮技術のウィンドウズメディアオーディオ(WMA)を採用している。これにより、NTTドコモが提供する映像配信サービス「M-stage visual」で配信されるミュージッククリップや映画の予告編などの映像コンテンツもWMA形式で楽しめる。なお、外部メディアにはSDカードが利用できる。



PDA型FOMA SH2101V。モバイルテレビ電話としても大いに期待できる。新規契約で118,000円程度。

www.nttdocomo.co.jp
(NTTドコモ)

ブロードバンド時代に対応した検索機能 『infoseek マルチメディア検索』開始

インフォシークは、動画や音声や画像、Office文書を検索できる「infoseek マルチメディア検索」の「バージョン0.0.8」を7月1日に公開した。さらに、7月16日には、検索精度を向上させた「バージョン0.0.9」を公開している。

検索方法は、通常のウェブサイト検索と同様で、調べたいキーワードを入力して「検索」ボタンを押すと、該当する動画や画像がリストアップされる仕組みだ。検索結果画面に表示される「動画」「音声」「画像」のボタンを押すことで、一度検索したキーワードを引き継いで検索できる。また、画像検索では、プレビューの表示も可能だ。

「infoseek マルチメディア検索」の開発の経緯について、同社は「急速に進むブロードバンド化や常時接続化を背景にした、ユーザーニーズの多様化に対応するため」と

している。

検索できる代表的なファイル形式は、「MPEGムービー」「リアルメディア」「Flashムービー」「QuickTimeムービー」「MP3サウンドファイル」「ビットマップ形式の画像」「JPEG形式の画像」「TIFF形式の画像」「Word文書」「Excel文書」「PowerPoint文書」など、合計で48種類にのぼる。

今後は、さらに検索精度を上げる技術や、現状では3000万から6000万URLに限られているデータベースを、ほぼ無限に広げるためのシステム、リンク先の画像や動画がすでに削除されている「リンクデッド」を防ぐ技術、動画や音声、画像を検索したあとにファイル拡張子で絞り込む機能を追加する予定だ。



Jump beta.infoseek.co.jp
(インフォシーク)

日本のインターネット人口は4619万人 『インターネット白書2002』刊行。利用実態を調査



「数字は信頼できるもの」と語る高橋徹インターネット協会副理事長と、塚本慶一インプレス社長(左から)

インプレスとインターネット協会は、7月2日、インターネットの利用実態を詳細に調査、分析した『インターネット白書2002』の発行を発表した。これによると、インターネット人口は2002年2月時点で4619万人に達している。この直前に総務省が「情報通信白書」で発表したインターネット人口5593万人とは数値に幅があるが、これは年齢差などの調査対象や手法、調査時期の違いなどによるもの。

インターネット協会副理事長の高橋徹氏は「野村総研など、総務省以外の調査とは数値が近くなっており、インターネット調査で信頼性が高いと言われているアイルランドのNUAの調査とも数値に近い。この数値は信頼できると考えている」と強調した。

この1年間でブロードバンド化が進んだ

結果、ADSL、xDSLの利用は、2001年調査の0.8パーセントから20.1パーセントと25倍に急伸、CATVは8.0パーセントから10.1パーセントに伸び、今回の調査で初めて登場したFTTHは0.6パーセントとなった。また、インターネットの世帯浸透率(1世帯に1人以上インターネット利用者がいる割合)は62.4パーセントと過半数を超え、そのうちの18.5パーセントは、ブロードバンド回線に接続している。

掲載されている独自調査データは、本書に明記されているIDとパスワードを入力すれば、ホームページから無料でダウンロードすることができる **Jump01**。また、7月20日から、インターネット白書のこれまでのバックナンバーを電子書籍化してダウンロード販売も開始する予定だ **Jump02**。

Jump01 Internet.impress.co.jp/hakusyo/
(インターネット白書)

Jump02 www.kacisbook.net
(ダウンロード電子書店)

XMLやJavaの技術を中国で研究開発 ブレインセラーズが清華大学と提携

Jump www.brainsellers.com

オンデマンドでPDFドキュメントを動的に生成する「オンデマンド・デジタル・プリント」事業を手がけるブレインセラーズが、中国の清華大学とJavaおよびXML分野における共同研究で提携した。この提携は、ブレインセラーズと清華大学の計算機科学技



術学部王克広教授研究室とでなされ、同社の資金提供により、新製品開発および新規事業のための技術開発が共同で行われるという。ブレインセラーズの代表取締役社長、渡邊治巳氏はこの提携について「国内の大学との提携を想定すると5倍のコストの違いがある」と語る。王教授研究室は上海証券取引所システムの開発など多数の実績があるという。

2003年第1四半期からサービス開始 オーバーチュアが日本法人を設立

Jump www.overture.com

米オーバーチュア・サービスは、日本法人「オーバーチュア株式会社」を設立して、7月1日より日本での本格的な営業活動を開始すると6月27日に発表した。日本法人の代表取締役社長は、鈴木茂人(すずき・しげひと)氏。オーバーチュアは、「スポンサード・サーチ・サービス」という、検索結果を有料で販売する事業を展開している企業で、2002年第1四半期の売上高は1億4,280ドル。会場では、日本語による「スポンサード・サーチ・サービス」を、NTT-Xが運営する「goo」やライコスジャパンが運営する「LYCOS」と提携して2003年第1四半期に提供を開始する予定が発表された。



ファイアーウォール、PPTPサーバー機能搭載 オムロンがADSLモデム内蔵ルーターを発売

Jump www.omron.co.jp/ped-j/

オムロンは7月27日、ADSLモデム内蔵のルーター「VIA GIO MA800R」を発売した。価格はオープンプライス(店頭予想価格は24,000円前後)、高度なファイアーウォール機能



を搭載するほか、外部にサーバーを公開できる仮想サーバー機能、内部LANに安全にアクセスできるPPTPサーバー機能などを備えており、一般的な通信事業者提供のADSLモデムに比べてかなり高機能な製品となっている。ADSLモデム部分についてはイー・アクセスの認定を取得しているほか、NTT東西のフレッツ・ADSLでも接続が確認されている。

宇宙からメールが送られる新サービス 「スターアニバーサリー」が応募開始

Jump www.starmail.jp

IHIエアロスペースは、国際宇宙ステーション(ISS)からメールを送信する「スターアニバーサリー」と、日記や詩などをISSに保管できる「スターダイアリー」の応募受け付けを開始した。アニバーサリーは、あらかじめ登録したユーザーのメッセージを指定した記念日にステーションから電子メールで送信するサービスで、ISSから撮影した地球の写真が背景になる。ダイアリーは、日記などを保存したCD-ROMを宇宙ステーションで保管する。アニバーサリーは最大400字で3万円。ダイアリーは最大1万字で3万円。応募期間は10月31日までとなっている。



掲示板の書き込み削除は管理者に義務 東京地裁が「2ちゃんねる」に賠償命令

Jump 2ch.net

国内最大手の掲示板サイト「2ちゃんねる」に書き込まれた内容で名誉を傷つけられとして、東京都内の動物病院と経営者の獣医師が「2ちゃんねる」の管理者に賠償を求めた訴訟の判決が、6月26日に東京地裁であった。山口博裁判長は原告側の主張を認め、「管理者は削除などの措置を講じる義務を負う」として、400万円の支払いと投稿内容の削除を命じた。2ちゃんねるに限らず、インターネット上の掲示板の多くは非会員制で運営されている。こうした掲示板への投稿内容について、真偽の判断と削除義務は管理者にあるとした判決は、今回が初めてとなる。裁判では、管理者は「投稿内容の真実性が不明な段階で削除する義務はない」と主張したのに対し、判決ではこうした真実性などの立証責任は管理者にあるとし、この主張を退けた。管理者はこの判決を不服として控訴するとしている。

ソニーとフジテレビがお台場に 共同運営の公開型スタジオを設置

Jump www.mediage.jp

ソニーが運営、管理してきたお台場「メディアージュ」が7月6日にリニューアルオープンした。6階の「studio DREAM MAKER」は、番組とイベントを融合した新しいコンテンツを開発するフジテレビとソニー共同運営の公開型スタジオ。5階の体験型科学施設「ソニー・エクスプローラサイエンス」は、約20点の展示品を通して、科学の原理原則を楽しみながら学び、またソニーの最先端のブロードバンド技術も体感できる。3、4階はインテリアショップ「hhstyle」と「sony style」で、生活空間提案型スペースを設けるなどソニーの新たなブランディング拠点として展開する。



サイバー・ローを検討する 「情報ネットワーク法学会」発足

www.in-law.jp

情報ネットワークに関するさまざまな法律問題に対して活動してきた研究者や実務家グループが、7月27日の設立総会をもって「情報ネットワーク法学会」を発足する。同学会は、慶應義塾大学教授の苗村憲司氏が発起人代表を務め、日本国内のインターネット関連法の法解釈や新たな立法政策などを研究しながら、時代の変化に応じた立法議論の場となる。

早稲田大学が2003年度社会人大学院で 「IT戦略」をテーマにしたコース開設

www.waseda.ac.jp/gradcom/news/

早稲田大学大学院商学研究科は、社会人向け特定テーマ集中型の修士課程において、2003年度4月から「ITと経営」をテーマとする新コースを開設する。ITに一定の専門的知識がある実務経験者を中心に、1学年10～15人規模で構成する。理論と事例の両立を徹底させた内容で、講師陣にはコンサルティング会社や先端研究者などを外部から招聘する。

P2P型コラボレーションソフト 「Groove」日本上陸

www.rueca.biz

システム・コンサルタンツウェブ・ベース・サービス事業部は、米グループ・ネットワークス社とパートナー契約を締結し、P2P技術によるビジネスコラボレーションソフト「Groove」を日本市場に投入した。企業間でファイアウォールを超えたネット上での共同作業が行えるため、効率化とコスト削減が見込める(Groove関連記事は132ページにもあり)。

ライブドアが専用接続ソフト不要 無料インターネットサービスを本格化

www.livedoor.com

接続料無料のプロバイダー、ライブドアは、広告表示機能を持たせた専用接続ソフトを使わなくても無料でインターネット接続ができるサービス「無料ベーシックサービス」を6月20日に開始した。また、有料の「livedoor フレッツプラン ADSL/ISDNコース」においても専用接続ソフトを不要とした。これにより、OSに依存することなく利用できる。

ITテレコムがストレージサービスで 期間限定のモニターキャンペーンを実施

www.itpark.ne.jp

アイ・ティ・テレコムは、サービス中のオンラインストレージサービス「ITPARK リモートディスク」において、期間限定で3MB無料で使えるモニター募集キャンペーンを8月31日まで実施する。リモートディスクはインターネットに接続できる環境であれば、どこでも利用できる。試用は9月30日まででユーザーIDが1つ提供される。申し込みはウェブサイトへ。

@niftyが恒例のコンテスト ホームページグランプリ2002開催

homepage.nifty.com/gp2002/

@niftyは、国内最大級のホームページコンテスト「@niftyホームページグランプリ2002」の募集を開始した。@nifty会員以外の応募もOKで、応募者本人(グループも可)が作成した日本語ページに限定している。募集期間は9月30日まで。11月1日にノミネート約30作品を発表し、12月9日に受賞作品が決定。グランプリ受賞者には賞金100万円が贈られる。

総務省が迷惑メール問題の対応で 適正化業務を行う指定法人を決定

www.soumu.go.jp/s-news/

総務省は、7月1日に施行した「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」を受けて、この適正化業務を行う指定法人に財団法人日本データ通信協会を指定すると7月10日に発表した。これにより同協会は、総務大臣への特定電子メールにかかわる申し出に対して指導や助言を行うほか、迷惑メールに関する情報や資料の収集、提供などを担当する。

「Bフレッツ」対応OCN固定IPサービスに ビジネス向けプランなどが追加

www.ocn.ne.jp

NTTコミュニケーションズは、NTT東日本・西日本が提供する「Bフレッツ ビジネスタ입」に対応した「OCN 光アクセス IP32/64『Bフレッツ』プラン」を追加した。固定グローバルIPアドレスを32個(月160,000円)あるいは64個(月190,000円)を提供する(ともにBフレッツ料金が別途必要)。8月1日にはビジネスタイプ対応のサービスエリアも拡大する。

アイルがコバルトサーバー対応 ウェブ管理システムを提供開始

cobalt.isle.jp/service/webkun.html

ホスティング会社のアイルは、「コバルトサーバ・ホスティングサービス」の追加機能として、ウェブ管理ソフト「ウェブ君™」の提供を7月1日に開始した。Sun Cobalt Raqサーバーに組み込むことで、ウェブやメールの管理と運営、CGIの作成などが容易にできる。基本サービス利用料は月額5サイトライセンスで15,600円(8月31日までは7,350円)から。

有線ブロードネットワークスが 音楽ライブが当たるキャンペーンを実施

www.usen.com

有線ブロードネットワークスは、8月20日までに光ファイバー・ブロードバンドサービス「BROAD-GATE01」をオンラインで申し込むと、先着1000人が基本工事料15,000円が無料になるほか、浜崎あゆみらが出演する「a-nation」に先着400組を招待する。さらに「usen.com」訪問者に対しても、抽選で音楽ライブが当たるWキャンペーンを実施している。



[左上]単1アルカリ乾電池8本で1日程度の運用が可能(これはデモ用、サービス時にはより小型のバッテリーも検討する) [右上] COOLSPOT専用の無線ルーター「NAPS-02」設置面積は14.5cm × 22cmのほぼA5サイズで、重さは480g。 [左下]WAN側のネットワークは現在のところAirH[®]とb-mobile(スロット自体はFOMAにも対応) [右下]萩原州代表取締役社長(右)と郷野将輝常務取締役(左)

日刊のニュースメディア『インターネットウォッチ』から注目記事をピックアップ INTERNET Watch DIGEST



5分間で運用できる無線アクセススポット構築パッケージ

電池駆動可能、バックボーン回線もいらない

nextmagic.com

[Reported by nagasawa@impress.co.jp]

【7月11日】ネクストマジックは、飲食店などで手軽に無線LANアクセスサービスを導入できるソリューション「COOLSPOT」の提供を開始した。

無線アクセススポット構築用のスターターキットは無線システムベンダーなどからいくつか発売されているが、ADSLや光ファイバーなどのバックボーン回線を別途調達しなければならない。したがって、これらを一から導入する場合、その契約や工事で手間とコストがかかるのが無線アクセススポット開設のネックとなっていた。

これに対してCOOLSPOTでは、LAN側だけでなくWAN側も無線ネットワークを採用しているのが特徴だ。IEEE 802.11b準拠の無線ルーターのほかに、インターネットへのアクセス回線となるPHSの通信カードおよび通信料金、ISP接続料金が含まれている。このパッケージを導入するだけで、「PHSの電波が届くところであれば、いつでもどこでも、工事不要で無線

アクセススポットが自由に構築できる(萩原州代表取締役社長)

実際、6月に大分市内のホテルで行ったモニター実験では、設置時の工事が不要という点がホテル側に好印象だったという。また、スポットの設置作業自体も、無線ルーターの場所の選定も含めて5分間程度で完了したと言っている。

常時接続性を重視

COOLSPOTに含まれるPHSは、DDIポケットのAirH[®]または日本通信のb-mobileで、いずれも128kbpsサービス(ただし、b-mobileは圧縮プロキシー機能で200kbps相当)となる。LAN区間は最大11Mbpsとはいっても、インターネット接続は必ずしもブロードバンドとは言えないわけだ。

この点についてネクストマジックでは、「たとえナローバンドでも、常時接続であることのほうが重要」と判断。スポットのオーナーにより手軽に導入できる方式を取り

入れることで、結果的に、エンドユーザーが外出先においてより低コストで利用できる方法を選んだとしている。

COOLSPOTのレンタル料金は、AirH[®]パッケージが1日5,000円 / 1か月2万5,000円、b-mobileパッケージが1日4,500円 / 1か月2万円となっている。このほか、現在はサンプル提供段階だが、長期利用で割安になる売り切りパッケージも検討中だという。やはり、バックボーン回線がPHSということで、有線のADSLなどに比べてどうしてもランニングコストが高くなってしまいうようだ。

そこでネクストマジックでは当初、回線工事が不要な点に加え、電池駆動も可能という特徴をアピールすることで、屋内 / 屋外のイベント会場に貸し出す仮設ホットスポットの市場を狙う。



ニュース検索エンジンのNewsboosterにリンク禁止の仮命令 ヘッドライン複製やニュースレター配信も「不当」との判断

www.newsbooster.com

[Reported by 江藤浩幸]

【7月8日】デンマークの裁判所は7月5日、オンラインニュースの検索エンジンNewsbooster.comに対し、デンマークのニュースサイト28社が提供するニュースソースへ直接リンクすることを禁止する仮命令を下した。今回の判決は、ハイパーリンクでつながったWWWと、検索エンジンにとって、非常に大きな影響を及ぼす可能性がある。

Newsboosterは3000以上のニュースサイトからの情報を分刻みで更新し、これらニュースの検索サービスを提供している。Newsboosterは裁判所の仮命令により、ニュースソースに直接リンクする“ディープリンク”を禁止されたほか、ヘッドラインの複

製や、ニュースへのディープリンクを含むニュースレター(検索結果)の配信などを禁止された。

この判決に対して、Newsboosterは「まったく不当であり、スカンジナビア諸国における検索エンジンの市場と発展に損害を与えるものだ」との声明を発表。さらに、今回の判決はデンマークの出版社が有料会員制のニュース市場で独占支配を築くための小さな勝利に過ぎないと非難。Newsboosterは今後、リンクが複製ではなく参照であるとの法的解釈を求めて、係争を続ける方針だ。

Newsboosterと同様のニュース検索サービスは、同じくスカンジナビアにあるノ



ルウェーのFast Search & Transfer (FAST)や米Googleなどが提供している。今回の判決を受け、これらの検索エンジンに対しても訴訟が起こされる可能性が出てきた。



P2P技術によるOutlook用スパム排除ツール「SpamNet」

「数千万人もユーザーの力を活用してNapsterのようなコミュニティを」 [Reported by 江藤浩幸]

【6月24日】米Cloudmarkは6月19日、P2P技術を使ってスパムメールを自動的に排除するウィンドウズ版「Outlook 2000/XP」用のアドインツール「SpamNet」版を無料公開した。同ツールは、ワンクリックでスパムを専用の「Spam」フォルダーに移動し、その排除率は75パーセントにのぼるといふ。

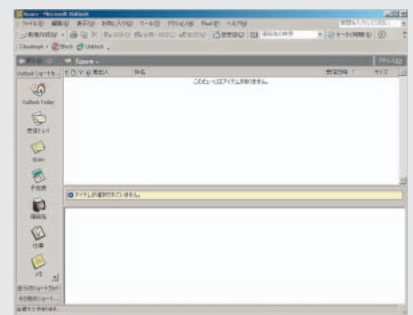
同ツールは、ワンクリックでスパムを排除するたびに、その情報をSpamNetのコミュニティに報告する。これにより、SpamNetの他のユーザーは情報を共有してスパムを遮断できるようになる。また、ユーザーがあるメッセージをスパムではないと見なした場合、「unblock」ボタンをクリックすればその情報をコミュニティで

共有できる。

SpamNetには「Truth Evaluation System」(TES)が組み込まれ、スパムであることが確認されたメッセージのみを排除する。SpamNetはコミュニティの成長につれて効果も上がるため、Cloudmarkは多数のユーザーが同ツールをダウンロードして、コミュニティに参加するよう呼びかけている。

Outlook用のアドインツールに加え、「Outlook Express」用のアドインツールも間もなく公開する予定で、その他のメールソフトにも順次対応する。

CloudmarkのCEOを務めるKarl Jacob氏は「当社の目的は、SpamNetによりユーザーがスパムを阻止するための最も簡単



な手段を提供し、電子メール体験を改善することにある。数千万人もユーザーの力を活用してNapsterのようなコミュニティを形成し、そのネットワークをスパムに対して有効に利用することを想像してほしい」とコメントしている。

www.cloudmark.com/company/press/releases/2002-06-19.php

『INTERNET Watch』ウェブサイト(無料)

www.watch.impress.co.jp/internet/

有料メールサービス(1,800円/6か月)

www.ips.co.jp/watch/info_in.htm

注目のサービス&製品をレビュー

Service & Products Selection

会員制ウェブサイトの構築を支援するASPサービス

NTTスマートコネクが「smartDB会員管理サービス」を開始

smartDB会員管理サービスの料金

初期費用	月額料金
90万円から	40万円から

初期費用と月額費用の料金モデル。実際は、ユーザー数などに応じて個別見積りになる



エヌ・ティ・ティ・スマートコネク(NTTスマートコネク)は、データベースと連動したウェブサイトを構築するツール「smartDB」に、会員制ウェブサイトの構築を支援するASPサービス「smartDB会員管理サービス」を6月12日に追加した。価格は、初期費用が90万円から、月額費用が40万円からで、サイトの規模や会員数に応じて個別見積りとなる。

このサービスを利用することで、短期間に会員制ウェブサイトの構築ができるとしている。さらに、個別にシステムを構築するよりコストが低い。会員向けページのデザインや、入力する情報などは、サイト運営者が自由にカスタマイズできるようになっているため、一般の会員制サイトASPサービスより柔軟性があるサービスと位置づけている。サーバーやデータベース、アプリケーションのシステム運用はNTTスマートコネクが行い、サイト管理者はこれらのシステム運用から開放される。

「smartDB会員管理サービス」の導入事例は、朝日放送の会員サイトや、FM802、J-WAVE、ピートリップのウェブサイトなど。

サイト利用者向けのおもな機能は、サイト利用者が会員登録を行う「会員登録機能」、会員が登録情報の変更を行う「会員情報変更機能」、会員が退会する「退会機能」、パ

スワードを忘れたときにウェブサイト上で問い合わせができる「パスワードリマインダ機能」、会員向けのアンケートに回答する「アンケート回答機能」など。

サイト運用者向けの特徴的な機能は、「年齢」や「男女」など、会員の属性情報の項目を自由に設定できる「会員管理項目設定機能」だ。それぞれの項目は、「必須」や「任意」などの設定が可能で、サイト運営者が設定した属性情報を元に「smartDB会員管理サービス」のシステムが自動的に「会員登録ページ」「会員情報修正ページ」のテンプレートを作成する。サイト運営者は、これらのページを既存サイト全体のデザインに合わせてデザインし直すことが可能となっている。

さらに、「アンケート作成・管理機能」では、会員に対してウェブサイト上でアンケートを実施できる。設定項目は自由で、作成されるテンプレートを元にデザインを変更可能だ。管理機能として、アンケートの開始日や終了日、回答回数や対象の制限が設定できる。

このほか、会員に対してメールを配信する「メール配信機能」は、全員に配信するほかに、特定の条件に該当する会員だけに配信できる。メール本文中に会員の名前や誕生日の埋め込みや、メールの配信時刻の指定、過去に送信したメールの履歴が参照可能だ。

▶ www.nttsmc.com/db/
(エヌ・ティ・ティ・スマートコネク)

有線ブロードネットワークスが「BROAD-GATE 02 光ビジネスアクセス」を提供

有線ブロードネットワークスは、オフィス向け光ファイバーインターネット接続サービス「BROAD-GATE 02」の新サービスとして、100Mbps「BROAD-GATE 02 光ビジネスアクセス」を6月20日に提供開始した。これは、有線ブロードネットワークスからユーザー宅まで、100Mbpsの回線を独占して利用できるタイプだ。帯域保証は行われず、ベストエフォートとなる。

接続IXは、JP1X、NSPIX2、NSPIX3で、バックボーンの合計は2.5Gbps。バックボーンは近々増強される予定になっている。アップタイムは月次平均で99.99%以上でこれには点検や機能増強にともなうネットワークの一時停止時間も含まれている。USEN網内における目標平均レイテンシー（延滞時間）は30ミリ秒以下だ。

サービスを申し込んでから開通するまでの時間は、有線ブロードネットワークスの光ファイバー敷設済み地域では10日間から1か月半ほど。過去の実績では、申し込みの50%ぐらいいは3週間を開通した。NTTのダークファイバーを利用する場合は、開通までに3か月前後要する。3か月のうち1か月以上は、ダークファイバーの利用可否を確認するためのNTT側の調査期間だという。

固定グローバルIPの割り当て数によって3コースのメニューが用意されており、利用できる固定グローバルIPが1個のプランでは月額費用が2万2,000円となっている。8月31日までに申し込むと、キャンペーン価格が適用され、契約を終了するまで月額費用が

2,200円割引かれる。さらに、利用には5万円の初期費用と3,000円の事務手数料が必要だ。

「BROAD-GATE 02 光ビジネスアクセス」のサービスエリアは、東京、横浜、川崎のうちBROAD-GATE 02が提供されている地域だ。9月1日以降に政令指定都市を中心にエリアを拡大する予定となっている。

付加サービスとして、ドメイン取得代行サービス、ウェブとメールのホスティングサービス、ジャストシステムが提供するオンラインストレージの「GATE DISK」、日立製作所が提供するグループウェアの「BOXER」が用意されている。

ドメイン代行取得サービスで取得できるドメインは、gTLD、JPドメイン、汎用JPドメインで、2バイト文字ドメインにも対応。初期費用が1万円、月額費用が500円で、これにはドメイン維持手数料が含まれている。

ホスティングサービスの「Standardコース」は、USEN網内に設置されたホスティングサーバーに接続するため、安定した通信ができる。ディスク容量が300Mバイト、メールアドレス数が50個、データ転送量の上限が1か月で5Gバイトの場合、初期費用が1万円、月額費用が7,000円となっている。

GATE DISKは、1Gバイトの共有ディスクと1Gバイトのバックアップディスクで、月額費用が3,500円。以降、1Gバイト追加することに月額で1,500円が加算される。このほか、BOXERの月額料金が4,000円からとなっている。

Jump www.usen.com/gate02/
(有線ブロードネットワークス)



BROAD-GATE 02 サービス料金表

サービスメニュー	初期費用	契約事務手数料	月額費用	固定IPアドレス数
光ビジネスアクセス IP-1	5万円	3,000円	2万2,000円	4個
光ビジネスアクセス IP-8	5万円	3,000円	3万2,000円	8個
光ビジネスアクセス IP-16	5万円	3,000円	5万2,000円	16個

8月31日までに申し込むとキャンペーン価格となり、契約終了まで月額料金が2,200円割引になる



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp